夕刊
一月十七日發行
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

爐邊夜話 北歐の冬を語る

ケイ・ワイ生

（中）

一方また夜が長いものだから、自然御茶だとか、晩餐だとか、踊りだとか、そんな社交機關が冬の間は特別に盛んで、それだけにまた家の中も賑かで、派手な空氣をずつと持ち續けてゐる。特に防寒設備は寒いところだけあつて非常に完備したもので、家の中に入ると全く夏の氣候と同樣であつて、例へば彼分などは毛布一枚かけて居れば充分だといふ狀態である。こんな點も西歐のフランス、イギリスなどに比べると都合がよく、むしろ暖い國よりも凌ぎ易い程、設備が完備してゐるといふことが出來る。

またスエーデンにしてもノルウエーにしても、デンマルクにしても、皆王國である關係上、王室を中心とした各種の社交機關が非常によく發達してゐて、私も仕事の關係で宮中晩餐會だとか、その他の儀式などにもしばしば列席する機會があつたが、これらは實に綺麗な樂しいものであつた

そこで、北歐の冬の思ひ出として今回忘れる事の出來ぬ情景を一つ二つ物語つて見よう

×

丁度今から五年ばかり前の話、有名の劇作家イブセンの百年祭がノルウエーの首都オスローの國立劇場で盛大に行はれたことがあつた。私もそれを觀に出掛けたが、その際オスローの郊外にある有名なホルメンコーレン（世界的スキー大會場）に行つて、其處で十六、七歲から二十三四歲位までの靑年のスキーのジャンプを見たのであつたが、四十米から四十五米といふ連中が可成り多數あつて甚だ美事なものだつた

その時に聞いた話では、ノルウエーの皇太子御自身もジャンプをされて、三十五米位は飛ばれるとかいふことだつた。日本では麻生君が當時のレコードホルダーで、やはり三十五米位だつた。ノルウエー皇太子の話を聞いて、日本もなるべく早く四十米、四十五米といふ人が出なければ恥しいとの感を深くしたものだが今日ではその位な人が現はれるやうになつたさうで、誠に愉快である

高月新年句會席題『雪』

晴天に粉雪ちらつきうそ寒し　日野良亭
うす雪をさと散らしたり今朝の雪　同
音もせで積る雪夜の山家かな　酒井みわ女
年の暮ほだに賑はふ雪夜かな　同
雪埋む谷あひの村や旗なびく　佐藤湖晴
ラツセルの鼻に舞ひ狂ふ花吹雪　同
鮮魚燒く煙のにぶりや紛雪空　大内秀峯
馬と來て雪に暮れけり峠茶屋　同
雪だるま大人も造る江戸の朝　只野閑月
雪一尺竹馬の子等勇ましく　同

潮聲硯靜抄帳

其他

ボーナスの袋さすりてもどりけり　鶴步
靴古りてボーナスの日のまたれけり　文狂
ボーナスや非常時なれば訓諭つき　鶴步
ボーナスの袋を妻に渡しけり　松堂
年末の賞與話や控室　長貴
ボーナスの夜の官舍の賑やかさ　松堂
暮れかゝるボーナスの日や門に妻　文狂
ボーナスに一家構へて親しめり　竹羊

社會の今日

1月18日

△元の國使來る（文永五）△明曆の大火（明曆三）△宮中御歌會始（明治二）△不祥事件懲戒處分決定△明政會、上取兩事件第一回控訴公判開廷△靑森縣鰺ケ澤町大火二百六十戶全燒（昭和七）△再生日本共産黨千五百餘名檢擧事件記事解禁さる△鐵道會議で五私鐵買收案可決（同八）

○

スキー迅し誰とも知らず見送りぬ　猪山史

只二人なりしかの夜のかそかなるたそれ心も戀しかりけり　南出靜子

講談 幕末神風組

土生太郎作
高根秀浩畫

(99)

近藤勇（五）

『やつと、俺は肩の重荷が下りたやうな氣がする、絕えず頭の中の何處かに巢喰つてゐた俺の惱みが一時に去つたやうな氣がする。俺の眞實の氣持ちなんかは、誰に話したつて判りやあしないからな――貴公だけよ話したいと思つてゐたのは京洛へ行つてゐるうちとても一刻として貴公の事を忘れた事はない！』

勇は、淺野の盃へ酒を酌いでやり乍らいふ

『俺だつてさ、風の便りに貴公の活躍を聞く度に、どんなにかなつかしく思つた事だよ』

『しかし、今度は同じ江戸だ、大いに力を合せて最後までやらうぜ！』

『あゝ、だが、それも今少しの間だな――』

『さうだつたな、蝦夷地へ渡つて了つては、だがいゝよ、俺もあとから此方の職ひをすまして出かけて行くよ』

『どうせ、江戸でも一戰爭だらうなあ――』

『いゝ、俺はね、皆これもかうなるやうになつてゐるのだから、しかし何も罪のない町人達までを此の渦中へ卷き込むのは氣の毒だなあ！』

『さうだ、其處だよ、勝總裁が喪ひ切らぬ大事となりのは――』

『全く、勝總裁の胸のうちもよく判る。だが勢ひだ、これも仕方がない最後の一花、うんと咲かせて屑く散らせる事だな――』

『さうだ、全くさうだ、武士道の末期をせめて、美しく華かに飾りたいからなあ！』

そして、二人の間には又一しきり盃の應酬があつた後、勇が思ひ出したやうに云つた

『大分刻も經つたやうだ、そろそろ切りあげるとしようか？』

『左樣、よい機だらう』

そして女中を呼んで、すつかり濟ませると、二人は料亭を出た。話が妙にしめつてゐたので、ヤツバリ醉を感じない二人であつた

風が冷たく、砂ほこりを遠慮會釋もなく吹きつけて來た

勇が面をそむけ乍ら云つた

『强い風だ！』

『さうだ、われ〳〵の行く道は、恰度これなのだ、時の推移に依つて吹く大いなる風に逆らつて步む、それは愚人のなす事か、いやいやさうではない、是れが武士として執るべき最善の道なのだ』

『如何にも……流れに抗するのは愚かも知れぬ。しかし……』

『お互ひにやるところまでやらうぜ……』

幾度くり返しても同じ事であつた、そして繰り返せば繰り返すほど二人の心は鞏固になつて行つた。と同時に、時流次第、時の天下樣次第といふ賣淫的性情者腰のふら〳〵浮はついた、口先尊王家に對する反感が募つて行つた

德川家が是れまでお預りしてゐた政權を、一天萬乘の大君にお返し申上げることに、何等異存のある彼等ではなかつた。その王政が古に復るのを心から祝福する彼等であつた

が、つい、憎むのは、阿諛的に尊王の大義を口にする虛實の蠻の横行である

大義を振り翳して內心に野望を抱く、そして又、それに媚びて行く醜業婦にも劣る賣淫的行爲を憎むのだ

近藤勇と淺野隼人は、互に談論を交しつゝ、益々鬪心を高めて行つた

（斷然！斬るのだ、腰拔共の卑怯者連を斬つて斬つて希くは地上から抹殺して了ひたいくらゐだ）

だが、それは到底望み得られぬ事である

今、錦旗は、勝ち誇りつゝ東國さしてひた寄せに押し寄せて來てゐるのだ

最早、何うする事も出來ないほど、大勢は急迫してゐた

嫁と姑

（五）

女子勞務者講習會に於て
古河人事係長
前松佐嘉述

然るに理智に乏しい人は相手が八、强く來てゐるのに此方も亦八と强くいつたりして双方の調和を圖らうとしないから破裂を免れないのであります、故に合ふといひ、合はぬと云ふも、つまり其の根本は此方の態度如何にあると見ねばなりません。尤も幾ら調和がいゝと言いても人に調和ばかりして居ると人格の要素をなす自己の主義、又は定見と云ふものがなくなつて不得要領の灰色人物となるから其所にはまた操守と言いて自己の主義を守るところの確固たる信念がなければなりません。併かしこの操守の程度が過ぎると頑固、若くは排他の思想となつて人生の平和を欠く事となるのであります

故に國家社會の問題といひ、或は一家個人の問題といひ、總て事の圓滿を圖らんとするには操守とて自己の意見を守るもいゝが其れよりも相手を尊重する意味に於て調和態度に出なくてはなりません。嫁と姑との關係に於ても之と同樣に何うせ初めから一致しないものだと定めて仕舞はないで、一旦緣あつて嫁となり、姑となつた以上は互に融和すべく努力せねばなりません。殊に結婚をするに當つてはその前すでに姑の有無は判つて居るのでありますから自己責任上より云ふも此の覺悟はあつていゝ筈であります

四、靑年と老人の心境

さて嫁と姑との融合せざる理由は一體、何なる事が主なる原因であるか、先づこれに就いて第一に擧げて見たいのは年令の相違といふ點であります。嫁と云へば普通十七、八歲から二十四、五歲までの靑年期に屬する若い女であります。人間の一生を四季に喩へて見るとこの時代は恰も百花爛漫と咲き誇る陽春の如く人生中もつとも趣味に富み、且つ身心共に一番旺盛な時であります。此の年令の者は如何なる心理を有つて居るかと云ふに男女ともに現在に滿足せずして未來に憧れるのが常であります。

防寒メリヤス
◎專賣特許毛メリヤス◎
防虫加工純毛メリヤス……三圓・三圓五十錢
防縮加工純毛メリヤス……二圓五十錢・三圓
防虫加工＝夏季ノ保存ニナフタリン彰腦ノイラヌ絕對虫ノ喰ハヌ特許製品
防縮加工＝御無理ナオ洗濯ニモ絕對チヾマヌ特許純毛メリヤス製品……
◎才婦人向・才子サン向實用防寒メリヤス・毛製品◎
ツルヤ
平電四一〇

腕、提、掛、置、時計
眼鏡 新型
指輪
ビクター
コロムビヤ
…二月新譜入荷…
金光堂時計店
電話一九五番

品質第一
電話二六八番
平牛乳舍
平町・九品寺前

貸切ノ御用命ハ
イツデモ眞先ニ（松崎ニ）
三九タクシーへ
（デンワ、ミクニ）

日本に唯一つ
魂の這入つた
東京工場聯盟の自轉車
指定販賣所
フタバ商會
平。新川町。橋際

安價で効果的な
天然加里肥
最も適應する作物!!
蔬菜、馬鈴薯、里芋、しやうが類
◎茄果類ではトマト、茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます
◎天然加里肥は酸性でないから如何に施用しても土壤を惡變する虞は絕對にありません
一俵 參拾錢
（大量取引は特に割引致します）
製造販賣 金成國雅
平町鎌田 電話六八八

トラツク
貨物自動車の御用命に應じます

無硫酸……不凍
泡沫……强力
〔特許貳億萬圓消火器〕
福島縣一手特約店
泉屋 大嶺商店
假事務所平町鍛冶町二九
電話五〇三番

氣管、食道科、
耳鼻、咽喉科、專門
平町南町（元眞木辯護士跡）
增田耳鼻咽喉科醫院
電話 四八二番
（入院隨意）

景氣は良く成つた
此處に三十圓か、五十圓位の小資本にて、每月五十圓から百圓以上の利益の擧る絕對に損をしない、確實有利な、而も年中無休にて至極高尙な營業があり。來りて實地に就き說明を求められよ時は今、活躍の時季躊躇して悔を後世に殘す勿れ、進步向上、奮鬪の士は早速來れ、人員に限りあり
姓名在社

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
X光線科
平町南町
上田醫院
（電話 一二九）
病室完備

社員招聘
一、集金販賣係 五名
經驗ノ有無ニ不拘小學卒業以上身元保證人アル廿二歲以上五十歲迄
一、見習社員 二名
小學卒業ヶ六歲以上ノ男子
但シ會社住込ミ勤務
平町田町通り
シンガー裁縫機械會社支店

石城酒造組合主催 唎酒會
優等
入選
辰の口
辰の口本店
平窪村（電話平二八五番）
販賣店
平町二丁目（電五四六番）

貸切車御用の際は是非電話六四〇番尼子タクシーへ御用命を御願申ます。
新車も購入致しました。
平町二丁目
尼子自動車部
電話六四〇番

內外
建築材
建具材
入阿部材木店
磐城國平町（公園下）
電話四九四番

操業も至つて順調裡に 增差十六萬噸二百萬圓
朗かな昨年の常磐炭鑛記錄

今年の常磐炭界が昨春來の增送續きから依然として輝かしい明日を約束されてゐる旨既報の如くであるがインフレ景氣と軍需工業の發達躍進に伴つて昨春以來上昇した炭鑛界は下半期に入つてからます／＼好況の波に乗り各方面とも採炭に全能力を擧げたことであるが一時に沸騰して需要に應へることは不可能で山元貯炭量は昨報の如く次第に減少しストック皆無の危機に瀕しつゝ昭和九年の新春を迎へいよ／＼需要の最盛期となつた――常磐炭鑛界も需要の大勢に從つて今や死もの狂ひの採炭を續けつゝあり、山元には新春劈頭から賑やかな景氣が立つてゐる昨年の記錄を拾つて見れば磐城、入山、古河、大日本炭鑛、福島等常磐炭の採炭量は別項の如く前年に比較して十五萬六千八百六十一噸の增加をした右は山元の現狀としては最大限度の奮鬪を示すもので市場相場は前年に比し塊炭噸當り一圓七十錢前後の値上りとなつてゐるから山元渡しにおいて一圓の開きあるものとすれば常磐炭鑛界は昭和八年の決算において前年より百九十餘萬圓の收入增加を得た計算になるこの値巾が各炭鑛會社の資產內容を著しく好轉せしめ炭鑛景氣を醸成してゐる筈である、今株式會社磐城炭鑛につき昨年下期決算と前期のそれを對比するに

單位千圓	下期	前期
利益	八〇一	五一三
財產減價償却金	四〇〇	二八〇
純益株	四〇〇	二四
株主配當	二二八	二一七

〔註〕配當率は前期の三分に對し下期は五分と增配してゐる

以下各會社とも同樣の經過を辿つて益金を增大してゐる筈である

特に目ざましい 下半期間の活躍
前年對比採掘量

常磐炭鑛界の晴れやかな苦闘史八年中の採炭量を前年と對比する（單位千噸）

	七年	八年
一月	一六五	一五六
二月	一五一	一五四
三月	一六一	一六八
四月	一四五	一四〇
五月	一六三	一四六
六月	一三五	一三七
七月	一一七	一三六
八月	一一七	一四六
九月	一四〇	一五三
十月	一五三	一八四
十一月	一五五	一七七
十二月	一七三	二〇六
計	一七五五	一九一三

以上の如く下半期に入つてから活躍が特に目覺しい

日本精神とは？
第三校平の教育編輯部で各方面の意見を求む

平第三小學校『平の教育編輯部』では教育の根幹中樞とも云ふべき日本精神に對し其の增大高遠深遠にして確と把握出來ざる洪大無邊な該精神に對し深奥なる理論的究明よりも最も具体的內容ある實際的な方面を闡明すべく『日本精神とは何ぞや』なる標題の下に目下各方面有志の意見を取り纏め中で平の教育一月號に輯錄發表すると

尖端的街頭圖書館
四倉雞鳴會の新企劃

四倉町鷄鳴會では昨十六日午後七時から總會を開き今年度の新事業とし街頭圖書館を設置する事になつた、これは同會員約七十名が毎月の會費中より醵金して適當の修養書を購入し町內五ヶ所乃至七ヶ所で公開するもので一般から非常に喜ばれて居ると、尚主なる新事

業左の如し
信條制定、珠算競技會開催、春秋に野球大會開催、名士の講演、三周年記念事業

◦◦◦◦◦

機關庫內係當選 平鐵道倶樂部機關庫內係は十六日開票の結果左の六名に決定した
柴田良一、志賀幸助、鈴木勝三郎、谷島清五郎、玉木乘治郎、有坂銀治

匿名で第二女兒に惠む 平第二校では去る十一日金二十圓を投げ出して行つた匿名の特志者あつたので今十七日貧困女兒約二十名にシャツズボン等を給與した

◦◦◦◦◦

第三職員卓球 第三校職員十四名は今十七日午後三時から卓球試合を行つた

員倶樂部のペスタロッチ祭は今十七日放課後職員室に講話茶話會を催した

磐中受驗準備教授
今月末開始の分擔決定

磐中校では來る二十二日から來月末に掛け左記分擔により受驗準備の課外授業を行ふが上級生の上級校志望は高校三十七名、高師二十五名、師範二部二十七名、大學豫科二十七名、その他專門校約百五十名である

英語―豊口、谷澤、山本
國漢―大村、廣木、山崎
小林、數學―梶原、鈴木
渡邊、下平
高田勇　四年―草野忠悟、西丸伸郎、永山勝經、澤田良彦、木田英夫、綠川泰次、武藤一男　五年―四家傘、志賀謙二、山田定、渡邊務、松本秀雄

◦◦◦◦◦

四倉俵米共同販賣 一昨十五日同町農業倉庫で開催したが定價の爲大部分が販賣しなかつたと

◦◦◦◦◦

第二校學藝祭 平第二職

大家の作も添へて 平商校書道展
明日から一週間開催

平商の書道展覽會は明十八日から一週間準備室に開かれるが今十七日左記を選拔して逢竹その他大家の名筆一年生の圖書數十點と同時に展覽する、尚明日特選を選んで夫々賞狀を授與すると

一年―平田良平、鈴木淺雄、大內義雄、石山精一橋本勇、鈴木茂男、渡邊盛孝、二年―小齊誠、金成新一郎、齊藤一郎、松本貞雄、大平兵一、中根正博、黒川壽三、加澤定男、鈴木義宗　三年―千葉忠雄、渡邊勝美、青木寶太郎、木村府衛、梅原三郎、弼塚靖、佐藤良吉西脇幸一、久保木武雄、

青年の死と聖愛
時代の推移と戀愛を觀る

E

〇　△　生

四、プラトンの理想國

承前。そう云ふ點に於てプラトンは全く牛馬の種をとるやうな方法でアセンス理想國の善良なる市民の子孫を得ようとしたのである併し之は大間違ひである、何となれば人間の子供は單なる性慾關係から立派な子供として生れるのではない人間は動物ではない、家庭に於ける父母の愛、兄弟の愛、夫婦の愛、殊に親が犧牲的な愛を以て自分の利害を無視して我子の爲に考へ我が子を育てる『子供が善良なる人間になるやうに』と苦心慘憺、犧牲的な愛の精神を以て育てる事によつてのみ子供は犧牲的の精神を學ぶのである、また愛の精神を學ぶのである、若し之が無かつたならば彼等が國家に對し社會に對する忠節、敬愛の精神は養はれないであらう、國家社會は家庭を基礎として初めて成り立つのである、我々の子供は家庭に於て親の子に對する犧牲奉仕の事實から初めて奉仕の精神を學び犧牲の心を養ひ國家に對する愛、社會に對する犧牲奉仕の精神を發揮するやうになるのである

この事實を無視して男女關係をたゞ單なる性慾關係に還元しやうと云ふのは大き間違ひである、さう云ふ唯物的な影響は今の日本に大きな害毒を流してゐる之は吾々がどうしても打ち勝たねばならぬ惡傾向である、打破せねばならぬ頹廢的な氣分である

五、戀愛至上主義に就て

翻つて顧るに茲十年許り前には今の唯物的性慾觀と反對に戀愛至上主義と云ふ事が唱へられてゐた、之は恐らく厨川白村の云ひ出した事であると記憶してゐるが、その戀愛至上主義と云ふのは單なる性慾の問題では無く詩的に戀愛を理想化しようと試みたのであつて今日の極端な唯物的傾向に反して當時そう云ふ樣な戀愛の極端な精神化、即ち極大化の時代があつたのである、厨川氏の戀愛至上主義はどう云ふ處から出てゐるかと云ふと、それはブラウニングの詩『廢墟の中の愛(LOVE AMONG THE RUIMS)』と云ふ詩の最後の句であるLOVE IS BEST(愛は最善だ)なる言葉から出てゐるのであると思はれ

（帆足理一郎）

海軍職工大募集
平紹介所でも斡旋する

横須賀海軍工廠造機部は東北六縣の農村青年から多數の職工を採用する事になり本縣には二百五十名採用を割當てられたので平職業紹介所でも希望者の斡旋をなすと、これは一ヶ月乃至二ヶ月の短期間で模型工、鑄工、機工、組立工、仕上工、製罐工、鍛治工等をその特長技能によつて養成し完全なる職工として軍事工業の實地に就かしむるもので近く福島、若松で人物考查を行ふと

部外の分を合せ七件四分の檢擧
繁忙な平署の一年間

平署に於ける昨年中の刑事事件取扱ひ數は發生二千四百四十一件で檢擧件數は部外のものが多い關係から二千七百十一件で內譯は竊盜檢擧一、二二九件を筆頭に業務上横領四三一件、詐欺四九一件が主なるもので人員は炭鑛及漁業地帶の關係から傷害の七十三件など總數千二百三十七名であつたと、尚卽決は拘留四十六件、科料六百八十六件、計七百三十二件である

縣下第一の 郡山を凌ぐ
平署十年來の記錄

前記の成績は同署十年來のレコードで送致件數は九百十一件の多きに達し從來縣下一を誇つて居た郡山を凌ぐ事送致百五十七件、檢擧百二十九件、人員二百三十四名であつたと

巡查採用試驗

本縣巡查採用試驗豫通り分は既報の如く今十七日午前八時から平署會議室で執行したが受驗者九十四名中中等學校卒業者が約二十餘名あつたが午前中行つた算術、作文問題左の如し

（算術）一、小麥若干あり これを一俵につき三圓五十錢の大麥と交換すれば俵數に於ては八俵增し又一俵につき六圓の米と交換すれば俵數は七俵減ずると小麥の俵數及一俵の價如何

二、或る停車場にて乘客數を調べたるに總數二百七十名中二等客は一等客の十四倍三等客は一等客の七十五倍なり最初の人數如何

三、人あり若干金を所持し初め八分三で 反物を買つたと五分一で雜貨を買つたと云ふ而して此の買上高は十一圓五十錢であると初めの所持金如何

四、鐵職工五日間賃金六圓を得る約束で七日二時間働いて賃金八圓六十四錢をひ一日の就業時間如何

イ、4分の3―(3分の2×2分の1)―6分の1

ロ、(4ヶ2分の1―2ヶ3分の1)÷(3ヶ3分の2―1ヶ8分の1)

ハ、(158―113.6)÷37×308×196+0.076

（作文）我が崇拜する英雄（記事文）寒中見舞の文（書簡）

今回の感冒は 餘程惡性らしい
欠席兒童逐日增加

感冒大流行で各小學校の缺席兒童多く昨十六日から對策を講じてゐる事は既報の通りであるが八日來の缺席兒は

	第一校	第二校
八日	三三	六五
九日	三八	六三
十日	三五	七九
十一日	三七	七六
十二日	六二	七九
十三日	九二	一〇八
十五日	一七三	一七八
十六日	一八〇	二一三

で逐日漸增を辿り殊に十三日來急激の增加を示し第二校では六名の職員が缺勤して居る程で今後の續出を懸念されてゐるが右に就き篠山津田兩校長は交々語る

大正七年の全國的に襲ふたのと同樣な流行感冒の一つでその時は最初罹つたものが比較的輕く段々胃腸を害ねる惡性になつて死亡も可なり多かつた今回もこの傾向があるやうだから大に注意せねばならぬとの事だ、九時始業、朝禮自習豫習廢止、マスク吸入、含嗽勵行等を奬めて居り今十七日は二三減じたやうだが本氣傳染をするから多數の集會には餘り出る事を避け外出先から歸つた時は必ず番茶で含嗽をする事、腹が痛くなつて來たら安靜に病臥するが良い惡性にならぬ中にと適當な豫防醫療方法を考慮中だ

◦◦

横領 內郷村大字宮字竹の內牛馬商好間村字室山一六生れ佐藤留四郎（四七）は客臘五日頃平町田町深谷啓次郎より馬買入代金として二十六圓を同町堤の內佐藤大五郎の手を經て預りその儘自己の生活費として横領した事發覺十六日平署に檢擧された

町會での發表から 綠川町議訴へらる
色川工場問題險惡化

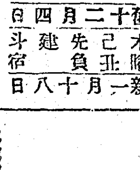
平町揺槌小路における色川製材工場の火力汽罐設置問題は地元の外隣接各區から猛烈な設置反對運動が起つて日に增し惡化し成行頗る注目されてゐたが十六日當面の責任者色川勝三郎氏は町會議員綠川喜三郎氏が去十三日の町會で發表した意見中適々色川氏の信用名譽を毀損する節があつたと云ふ理由の下に昨十六日武田辯護士により平署に告訴の手續をなし成り行きを刮目されてゐる

贋記者暴れる 下小川村大字柴原自稱中央新聞記者左官職鈴木清光（三四）は平町玩具商佐藤某と共に昨夜午後五時頃飲酒の上平町田町一四料理店福榮亭事佐藤サダ方に暴れ込み『酒を出さねばならぬ金を出せ！』と傍にあつた器具を手當り次第投げつけて居るのを屆出により馳けつけた渡部部長が誰何すると今度は矢庭に同部長に抵抗したので降りしきる雪の中で格鬪の末取押へ本署に檢束した

建議案撤回
調停委員を擧ぐ　けふの平町會

色川工場火力使用反對建議案に對する委員會の經過報告町會は今十七日午後一時四十分野崎副議長により開會委員鈴木光吉氏から審議未了に終つたのは遺憾である旨報告あり、結局提出者から該案を撤回し更に協議會で調停委員を擧げ圓滿解決に向つて進む事となり二時半閉會した

十八日
日出 六、五〇　月出前 八、三六
日沒 四、五三　月沒後 八、〇五
滿潮 前八、〇〇 後七、一〇　干潮 前 一、〇〇 後 一、〇〇



舊十二月四日　木曜　己丑　先負　建　斗宿　新一月十八日

諸判定廳蓄　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神　撰

▲一白の人　遅々として萬事捗らず力抜けの狀態なる日▲二黑の人　彌縫の策は却て後日の憂をのこすに過ぎず凶▲三碧の人　平靜なりし波も突風の爲大ならんとする日▲四綠の人　他意を尊重し我意を行はざるに宜しき日▲五黃の人　諸事成行に任せて無理の策動をせぬが安全▲六白の人　運勢盛にして家道大に發揚するも輕動は凶▲七赤の人　糸を繰り出す如く共から共と伸長すべき日▲八白の人　實直に營業を守り他に心を移さざれば安全▲九紫の人　常に衆人よりの同情深ければ希望も満さる

磐城名物
靈峰羊羹
小川郷驛前
平屋賣店

石炭
コークス
玉炭
平驛前
阿部石炭商店
電話三七番

一、全能式電氣治療
一、ラヂウム放射浸透治療
一、紫光線治療
本療法は八種の電流を應用し心身共にいふべからざる爽快を覺ゆる裡に最高の治病及び增健的効果を遺憾なく發揮させる最新治療法で有ります
適應症
頭痛、神經痛及麻痺、リューマチス、關節炎、ゼンソク、百日咳、胃腸病、氣管支カタル、中耳炎扁桃腺炎、腎臟炎、助膜炎、蓄膿症、ルイレキ、動脈硬化症、カリエス、母乳不足、乳腺炎、白黑ソコヒ、カタコリ、ウチミ、クジキ、手足シビレ腰痛、痔疾、淋病、其他
平町大町五
伊坂電療院

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦を派出します
親切 叮寧……料金は極めて低廉です
姙産婦の御家庭　お留守居番
御病人の付添
炊事や雜用　年寄やお子さんの付添
派出多忙に付會員至急募集
平町紺屋町二（電話(呼)六五二）
上原家政婦會
會主 産婆 上原通子

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
關彰商店平支店
電話六一一番
本店 水戶線下館驛前（電話五五番）
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、マシン油、モビール油、機械油類、胡麻、種水、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ
支店所在地
茨城縣土浦町田宿（電話六五三・八二四）
常磐線關本驛前（電話平潟五四）
常磐線四倉驛前（電話四八）
◇海上給油及油槽所
久慈濱、大津、平潟